

第69回 人権週間

自由及び平和の基礎となる基本的人権を確保するため、世界の全ての人々と全ての国々とは達成すべき共通の基準として1948年（昭和23年）12月10日の国連総会において、「世界人権宣言」が採択されました。

国連は、世界人権宣言採択を記念して、採択日である12月10日を「人権デー」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。

日本でも12月4日から10日までの一週間を「人権週間」として、世界人権宣言の意義を訴えるとともに人権尊重意識の普及高揚を図るため、全国各地で啓発活動が行われます。

当町では、一人ひとりの人権意識の向上を図ることを目的に、毎年各分館において「分館人権学習会」を開催し、人権問題に関するビデオを題材に参加者みんなで人権について考える機会を設けています。今年も9月から10月にかけて、町内全33分館で実施することができました。

また、「人権週間」に併せ人権教育の推進と啓発を図るため、12月2日(土)午後1時から、老人福祉センターにおいて「第40回人権を考える町民大会」を開催します。講師に、蓮池薫氏をお迎えし、「夢と絆」と題しご講演をいただきます。大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

21世紀は人権の世紀です。すべての人々の人権が尊重され、平和で明るい町づくりをみんなの力で実現しましょう。

図書室だより

お願い

返却期限は守りましょう。本の予約待ちをしている人もいますので借りた本は期限内に返却をお願いします。

教育委員会

新着図書



「淳子のてっぺん」

唯川 恵 (著) 幻冬舎 (出版)

2016年逝去した登山家・田部井淳子。男女差別が色濃い時代、女性として初めてエベレスト登頂に成功した彼女は、どのように生き、どのように山に魅入られたのか。その人生を完全小説化。

「顔ニモマケズ」

どんな「見た目」でも幸せになれることを証明した9人の物語

水野 敬也 (著) 文響社 (出版)

リンパ管腫、動静脈奇形、アルビノ…。顔や外見に症状を持つ人たちが、人生に起きた出来事を乗り越えて幸せをつかんだ物語を、インタビュー形式で紹介する。

「ヨチヨチ父」とまどう日々

ヨシタケ シンスケ (作) 赤ちゃん和妈妈社 (出版)

絵本作家ヨシタケシンスケが、父になってわかった“トホホな真実”を描く。パパは共感、ママは落胆の育児イラストエッセイ。

「ゆきがふるまえに」

かじり みな子 (作) 偕成社 (出版)

ラビットちゃんは、山で暮らすうさぎの女の子。初めてのおつかいで町へやってきて、買い物すませ、ベンチでひと休みしますが…。

閉室のお知らせ

中央公民館並びに図書室は、下記のとおり、お休みします。ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をお願いします。

館内清掃 12月17日(日)

年末年始休業 12月28日(木)午後1時～
1月3日(水)

お知らせ

「ちゅうりっぷの会」による

乳幼児のためのおはなし会

日時 12月20日(水) 午前10時30分～

場所 中央公民館 視聴覚室

対象 0歳児～

大型絵本・パネルシアターなど親子でお楽しみください!

図書室利用案内

開室時間

●月曜日～土曜日 午前9時30分～午後6時
(土曜日は午後5時)

●日曜日・祭日 午後1時～午後5時

*お一人 5冊まで 2週間借りられます